

めざす児童像		○ 学校生活のリズムをつかみ、安心感をもって生活する子ども													
時間割	1校時	11日 学活	14日 生活(1)	15日 国語	16日 国語	17日 国語	18日 国語	21日 国語	22日 算数	23日 内科検診	24日 算数	25日 国語	28日 国語		
	2校時	生活①	国語	体育	図工	体育	体育	図工	心臓検診	国語	体育	体育	生活(7)		
	3校時	生活②	生活(2)	生活③	生活(3)	図工	算数	算数	生活(4)	図工	国語	生活(5)	生活(8)		
	4校時	国語	音楽	算数	道徳	算数	生活④	音楽	道徳	学活	音楽	生活(6)	算数		
	5校時		通学路確認				授業参観	裁量	国語	交通安全教育	国語	算数	裁量		
入学前		4月													
<b>6年生総合</b> <b>いずみ幼稚園訪問</b> ・交流を通して、小学生や小学校に対する憧れを抱けるようにする。		<b>生活 「きょうから1ねんせい・わくわくどきどきしょうがつこう」(12)【残4時間は5月】</b> ① (単元の導入) ・教科書の絵を見て、気付いたことを自由に話す。 ② 先生や友達と自己紹介をする。 ・先生や友達と自己紹介をする。 ・これから一緒にやってみたいことを考えたり話したりする。													
<b>情報交換</b> ・一人一人の好きなものや頑張っていた活動、得手不得手など、様々な情報を知り、指導や支援に生かせるようにする。		(1) きよから1ねんせい ・これから一緒にやってみたいことを考えたり話したりする。 (2) こうていをさんぽしよう ・校庭を探索し、自分のお気に入りの場所を探す。 (3) がっこうをたんけんしよう ・校内の探検する。 (4) がっこうせいかつ ・生活の流れを意識した学校生活を送る中で、朝や帰りの準備、給食当番や掃除などを行う。 (5) なにをかんじたかな ・気付いたこと、もっと知りたいこと、やってみたいことを伝え合う。 (5)～(8) もっとたんけんしてみよう ・2年生に案内してもらって、校内の施設や設備を探索する。													
<b>来入見学校参観</b> ※園児を招待 ・体育の授業と一緒に受ける。 ・園児も小学生も、入学や進級への思いを膨らませることができるよう支援する。		<b>他教科等</b> ★ はるがきた(国語) ★ こんなものみつけたよ(国語) ★ うたっておどってなかよくなろう(音楽) ★ 体ほぐしの運動遊び(体育) ★ 1年生になって(学活) ★ おはなしききたいな(国語) ★ うたにあわせてあいいうえお(国語) ★ はくをかんじとろう(音楽) ★ 固定施設を使った運動遊び(体育) ★ がっきゅうのかかりをきめよう(学活) ★ なんていおうかな(国語) ★ 字を書く姿勢(書写) ★ すきなもののいっぱい(図工) ★ がっこうだいすき(道徳) ★ ひなんのしかた(学活) ★ かくことたのしいな(国語) ★ えんぴつのもちかた(書写) ★ すきなもの(図工) ★ きもちのよいせいかつ(道徳) ★ 地震が起きたら(学活) ★ どうぞよろしく(国語) ★ なかまづくりとかず(算数) ★ おしえてみんなのすきなもの(図工) ★ みなさんよろしくの会をしよう(学活)													
<b>就学時健診</b> ・検診や知能検査の際に、「小学生はこうやって挨拶するんだよ。」「教室には、こんなものがあるよ。」などと声をかけ、入学への不安を軽減し、期待をも膨らませよう支援する。		☆ 全教職員が、子どもたちの保育所や幼稚園・認定こども園等での経験やそこで得た学びを生かす声掛けを心掛ける。 ☆ 児童が学級や様々な場面で安心して自分の思いを伝え、その思いを承認したり、共感、感嘆したりして自信をもたせていく。 例：簡単なスピーチや授業中の発言、作品のアイデアなど ☆ 教師は意図的に友達と関わる場面を設け、児童同士のつながりを増やしていく。 例：授業や休み時間、給食等の時間で、教師と児童全員で共同作業をしたり、一緒に活動したりする。 児童の誰もが、スポットを浴びるような場面を意図的に設けていく。													
<b>運動会</b> ※園児を招待 ・園児の思いを生かした種目内容を検討する。		○○のこと知っているのですね。すごい！ 知らないことがあっても大丈夫ですよ。いつでも先生に聞いてくださいね。 ◇◇さんは、こう言っていますよ。△△さんは、どうしますか？いっしょにやってみますか。 自分の意見が発表できるのはかっこいいですね。もちろん、友達と似ている意見でもいいですよ！ 隣の友達と相談してみましょう。グループの友達と相談してもいいですよ。 今日の日間は、共遊です。校庭に出て、みんなで遊びましょう。何をしたいですか？ 幼稚園から来た子も保育園から来た子もいろんなことを知っていますね。1年生のみんなは、こんな事ができるんですね！ 保育園や幼稚園では、どんなことをしたのかな？先生に教えてくださいね。 ○○さんが教えてくれた後、☆☆さんは「ありがとう。」と言えましたね。二人ともすばらしいです。 □□さんが、発表しているとき、みんな□□さんの方を向いて一生懸命聞いていましたね。このクラスは、聞き方名人がたくさんいますね！ 今日的生活科は、クラスみんなで協力して学校の地図を作りますよ！ 学校を探索して、見つけたことや気付いたことをクラスの人に教えてください。(発表の後) ** さんと同じことを見つけたお友達はいますか。													
<b>新入生保護者説明会</b> ・入学までに、あるいは5月上旬までに、できるようにしておくことを望ましいことを伝える。 ・「○○ちゃんならできるよ。」「一緒に頑張ろう。」というスタンスで接してほしい旨を保護者に伝える。 ・保護者の不安感に共感し、質問等に丁寧に応じる。		☆ 教師は意図的に友達と関わる場面を設け、児童同士のつながりを増やしていく。 例：授業や休み時間、給食等の時間で、教師と児童全員で共同作業をしたり、一緒に活動したりする。 児童の誰もが、スポットを浴びるような場面を意図的に設けていく。													
<b>生活科「なかよし会」</b> ・小学生が、小学校生活の様子が分かるプレゼンテーションや一緒に活動することで、入学や進級への思いをさらに膨らませることができるよう支援する。		☆ 教師は意図的に友達と関わる場面を設け、児童同士のつながりを増やしていく。 例：授業や休み時間、給食等の時間で、教師と児童全員で共同作業をしたり、一緒に活動したりする。 児童の誰もが、スポットを浴びるような場面を意図的に設けていく。													
<b>環境</b>		○ 分かりやすい表示(靴箱や道具箱の使い方の絵表示) ○ 全員の名前が載っている掲示物(お誕生日列車等) ○ 洋式トイレの場所を知らせる。 ○ 一日の流れを絵と文字で示す。(イラスト入り日課表) ○ 教室に時間の使い方を時計の回りに表示しておく。 ○ 国語や図工の作品を早めに掲示していく。(記名は教師が行ってもよい)													

\* 上級生への意識付け：自分が1年生のときに、「上級生にやってもらってうれしかったこと」や「自分の力でやってみたかったこと」を考えさせ、行動に生かす。